



東陽の旋風^{かぜ} ～自立貢献～

令和4年7月20日(水) No 15 発行
文責：松本 卓也

「石工の郷 八代」の魅力を伝える ～中学生ボランティアガイド～

「八代を創造した石工たちの軌跡 ～石工の郷に息づく石造りのレガシー～」が、令和2年6月19日に日本遺産に認定されました。日本遺産とは、文部科学省が認定した、地域の歴史的な魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーのことです。各地域の魅力溢れる有形・無形の文化財群を、地域が主体となって整備活用し、国内外へ発信することで地域活性化を図ることを目的としています。八代市としては、日本遺産を地域活性化に繋げるために、以下の4つのプロジェクトに、今後、取り組みをすすめています。①石工の郷の文化を守り伝える仕組み、②石工の郷の体感文化をつくる仕組み、③石工の郷の文化を魅力的に伝える仕組み、④石工の郷の情報が積み上がる場づくり。八代市内に現存している46基の石造りのめがね橋。そのうち、半数近くが東陽町に存在します。学校教育目標スローガン「自立貢献」の具現化に向け、ぜひ、「地域の魅力を発信するボランティアガイド」にならなりたいと考えています。



13日(水)は、八代市文化振興課より3名の講師の方をお招きして、ボランティアガイド説明会を行いました。「八代の認定ストーリー」の概要や日本遺産を目指した目的、今後のビジョン、ブランディング戦略を熱く語ってくださいました。東陽町の宝物である石橋群を、行政や地元有志の方々と一緒に整備活用したり、国内外に発信したりする壮大なプロジェクトです。くしくも、今年には石工のレジェンド、橋本勘五郎さんの生誕200周年。節目の年に、大きな学びを得られる機会です。保護者の皆様からのお声掛けもどうぞよろしくお願い致します。

Thank you very much
for teaching us English.

昨年11月から本校にALTとして勤務されていたDavid先生が、今夏アメリカに帰国されることになりました。短い間でしたが、本校生徒に英語の楽しさや面白さを教えていただき、ありがとうございました。David先生の夢(言語聴覚士)の実現を、本校職員・生徒一同願っております。今まで大変お世話になりました。



伝統文化学習スタート ～思いを受け継ぐ～

東陽町に継承されている伝統文化の体験学習(伝統文化学習)が、15日(金)始まりました。勇壮で華麗な踊りや迫力ある太鼓の音色に圧倒されました。脈々と受け継がれてきた「箱石銭太鼓踊り」「坂より上棒踊り」「石匠太鼓」。先人の思いをしっかりと受け止め、引き継いでいきたいと思っております。ご指導いただいた5名の指導者の皆様方、大変お世話になりました。



【編集後記】学校ではできない出会いや学びを夏休みに！

▼4月から今日まで、子どもたちの努力や頑張りを毎日見てきました。運動会や生徒総会、中体連等の学校行事に、主体的・積極的に取り組む姿。授業中の学び合う姿。掃除を黙々と頑張る姿。困っている人がいたら声を掛ける姿。一人一人の素敵な行動が素敵な東陽中を創っています。▼明日からの夏休みは、子どもたちは地域や家庭で生活することになります。コロナ渦の状況で、制限されることもありますが、家族とゆっくり過ごす、家の仕事に励む、興味のあることに取り組む、好きな本を読む、勉強に励む等々、魂が震えたり心身を成長させる体験や学びがたくさんあります。学校ではできない出会いや学びを、この35日間です。命を失うことのないように、何より大切にしたいことは「安全・安心な生活ができますよう、見守りをよろしくお願いします。8月25日(木)、一段と成長した姿に会えることを楽しみにしています。



自分からやる夏に!!

夏休みは、自ら学ぶ態度を育てるのに絶好の機会です。「計画を立て、決まった時間に学習する。成果と課題を次の計画に生かす。」これを繰り返すことで、習慣になります。定着を促すため、1・2年生の夏休み明け確認テストをなくし、2種類の課題を準備しました。テストのための学習から自ら学ぶ学習へ！子どもたちの意識改革を目指します。

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名 ()